



## タマでもわかる タマのための 多摩弁講座②(生き物編Ⅱ)

多摩に昔からある、生活に根づいた言葉。これによって、  
人々がどれだけの土地に愛着を落したことだろう。

2) ママー、かがみちよ  
見つけ  
また  
くさぼうこに♡

3) ママー、はがちが  
ぞうくり  
かみちよ  
巻きつかれたん  
あて?!

4) ママー、  
かがみちよが  
2人になった!!  
はがちを  
とがりばんに  
ごうげてるん!!

5) だぼら  
こくどねエ!!  
ひん  
ちよほい  
お!  
ほんとだ!!

6) さて、この中に  
多摩弁は  
いくつ  
出たか  
でしょう? 答えは  
この下に♡  
—永山の乗ちゃん—

## メモランダム 「ソフリエ・パバシエ」

東京のNPO法人エガリテ大手前が独自のプログラムによる祖父向けの子育て指南書(ハンドブック)を作成し、地方自治体などに提供を始めたとか。ハンドブックは、仕事に追われて子育てを妻任せにしていた男性らに向け、ミルクの飲ませ方やおむつ交換など子育てのポイントを初歩から解説。離乳食を始める時期など、親世代と祖父母世代との間で対立しやすい育児法をめぐる世代間ギャップについても、対処法とともに紹介。講習期間は、5ヶ月に6回(1回120分)。講習終了者には、ワインのソフリエのように、おじいちゃんには「ソフリエ」、お父さんには「パバシエ」の認定証が授与されるのだそう。今年、子育て資格を授与されたおじいちゃんの『ソフリエ』3人、お父さんの『パバシエ』5人が日本で始めて北九州に誕生したとか。

一方、地域や家庭の見守りや助け合いの機能が低下している現状を踏まえ団塊の世代を対象に「子育て・孫育てサポーター講座」を始めたのは、佐賀市の佐賀女子短期大学。今年で3年目になるこの講座には、50代から60代の女性を中心に30名の受講生が参加と好評とか。同講座は、団塊世代の知識や経験を育児支援に生かす取り組み。講座は12月まで週1回のペースで開き、計122時間学ぶ。佐賀市の児童センターなどでの実習、短大の教授らによる講義、自主企画での実践の3段階で構成され、修了者には短大から認定資格が授与されるのだそう。

異世代家族で生活していたその昔は、年長者は尊敬され、その知恵が十分に生かされた。

子育ての知恵もたくさんあった。

それなのに今は・・・さびしいねえ  
ところで私の「ばばりエ」検定は  
だいじょうぶか??不安!?(今)



- 1 いろいろを背に
- 2 のびをした
- 3 ぜんの光は
- 4 ままでになく温かく
- 5 っかな
- 6 しおが身体を巡った



## 「たのしいまち」うた

みなさまもチャレンジしてみてくださいね。  
楽しい作品 お待ちしています。

## 編集後記

- ☆ W杯開幕日本の目標は、世界はそんなに甘くない (Z)
- ☆ 奈良で平城遷都一三〇〇年祭が開催されています。夏休みは、ちよっと歴史散歩でもして来ようかなあ (力)
- ☆ 新緑の季節到来。自転車散歩で気分爽快! (よ)
- ☆ 八ヶ岳に御柱が飾られていた。大きさに圧倒されていると「これは練習用。本物は倍の18mですって!!」(月)
- ☆ ロビンソン・クルソーはすごい! 27年も無人島で一人で、家や牧場や茶碗まで作って! やればできる!! (業)
- ☆ 最近の悩み「しみ・しわ・たるみ!」 「そんなこと?」って言うなかれ! 遺囑乙女の悩みは深刻だぜよ! (今)
- ☆ 心のリフレッシュもかね、ガーデニングに力を入れます。色とりどりの花と、今夏の収穫が楽しみです。(は)